



対馬市が年収307万円の対馬家だったら・・・

対馬市の平成27年度一般会計当初予算は、306億7,300万円ですが、このままでは金額が大きすぎてなかなか実感がわかないと思います。そこで予算を1万分の1にして、年収306万8千円の家庭に置きかえた場合の年間家計簿を作ってみました。

対馬市一般会計予算

歳入

項目		金額
自主財源	市税・使用料など	35億6,937万円
	基金からの繰入金	14億5,663万円
依存財源	地方交付税	144億2,245万円
	国県支出金など	80億9,835万円
	市債	31億2,620万円
合計		306億7,300万円

対馬家の家計簿

収入

項目	金額		割合 (%)
	年間	1ヶ月	
給料	35.7万円	3.0万円	11.7
貯金の取り崩し	14.6万円	1.2万円	4.7
親からなどの援助	144.2万円	12.0万円	47.0
親からなどの援助	81.0万円	6.8万円	26.4
借金(ローン)	31.3万円	2.6万円	10.2
合計	306.8万円	25.6万円	100.0

歳出(性質別)

項目		金額
義務的経費	人件費	51億1,218万円
	扶助費	32億9,472万円
	公債費	56億133万円
投資的経費(普通建設事業費)		54億2,738万円
その他の経費	物件費	50億7,463万円
	繰出金	17億340万円
	補助費等・貸付金など	43億1,362万円
	積立金	1億4,574万円
合計		306億7,300万円

支出

項目	金額		割合 (%)
	年間	1ヶ月	
食費	51.1万円	4.3万円	16.7
医療費	33.0万円	2.8万円	10.7
借金(ローン)の返済	56.0万円	4.7万円	18.3
家の増改築・修繕費 電化製品の買い替え	54.3万円	4.5万円	17.7
光熱水費・電話代	50.8万円	4.2万円	16.5
子どもへの仕送り	17.0万円	1.4万円	5.6
地区会費・趣味活動の会費	43.1万円	3.6万円	14.0
貯金	1.5万円	0.1万円	0.5
合計	306.8万円	25.6万円	100.0

対馬家(市)の支出の状況を見てみますと、食費(人件費)、医療費(扶助費)、借金の返済(公債費)などに多くのお金がかかっています。これらの経費は、生活(行財政運営)のためには必ず支払わなければならないもの(義務的経費)です。今年度の対馬市一般会計予算では、この義務的経費の割合が支出全体の45.7%を占めています。その他にも、家や電化製品などの老朽化による修理や買い替え(投資的経費)も必要ですし、子どもへの仕送り(繰出金)、地区会費・趣味活動の会費(補助費等・貸付金)などの支出もあります。また、将来のための貯金(積立金)も必要です。

一方、収入の状況を見てみますと、給料(市税・使用料など)、貯金の取り崩し(基金からの繰入金)など、家庭内で得られる収入(自主財源)は、生活(行財政運営)に必要な経費全体の16.4%だけしかありません。そのため、親からの援助(地方交付税や国県支出金など)や借金(市債)などの依存財源に頼ることになります。地方交付税の減額等により、今後ますます厳しい財政状況になることが予想されますが、節電・節水・食費の抑制(物件費・人件費の抑制)に努めたり、家の増改築等を必要最低限のものにする(公共施設の見直し)など、工夫してやりくりしていきます。

